

ウィリアム・フォーサイスの『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』について

早稲田大学 渡沼玲史

ウィリアム・フォーサイスのソフト、『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』は即興で動きを生み出すための具体的なテクニックのアーカイブである。これらのテクニックがよって立つ原理は示されていない。この研究の目的は帰納的にこれらのテクニックがよって立つ原理を導き出し、その意義を考察することである。ここではまず、幾つかの原則に則った首尾一貫したシステムを取り出す。

『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』から、規則の集合からなる二つの体系を見いだすことができる。一つはある独立した体系（とりあえず幾何系とする）であり、もう一つはその体系と身体との関わり方の規則の集合からなる体系（とりあえず関係系とする）である。この独立した体系（幾何系）は『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』が示す法則によって成り立っている。『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』は幾何系と関係系が多く部分の占めている。『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』に収められている動画には実際には目に見えない線や面が挿入されている。これらは説明のために挿入されているものである。ここではそうした線や面の幾何系の構成物として捉える。ここで単に身体と呼んだものもある体系の中にあるものである。それがどのような体系かは『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』の中では述べられていないが、我々はそれがどのようなものかと言われるまでもなく知っている、あるいは知らないまでも操ることはできる（重力があり……）。

幾何系は『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』の中で、フォーサイスの動画に挿入される線や面として可視化される。テクニックの実際の使用においてはこのような系の違いは意識されないが、テクニックがよって立つ原理の理解のためには必要な仮定であると考え。では幾何系とはどのようなものだろうか。

幾何系は線とその集合だけで構成される。幾何系の中で出来ることは非常に限られており、その中で可能なことは『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』の中で示されている事だけである。規則は『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』の中で明示的に述べられているわけではない。『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』の中では一つのテクニックの中で幾何系と関係系が

同時に示されていることが多い。上で示した規則は、そこから抽出されたものである。

単にこれだけでは身体を動かす事とはつながらない。これらの法則と身体がいかに関わるのか。ここにも幾つかの方法が示されている。これを関係系と呼ぶことにする。

幾何系、幾何系と身体の関係（つまり関係系）これらがあって初めて身体の運動として現れる。『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』では基本的に、幾何系に何らかの線が見いだされ、幾何系と関係系に基づいた操作が行われて結果として身体が動く。

以上のことから理解できるのは次の事だ。幾何系が存在し、身体の体系はそれに属さずそれを外部から操作することができる。ある独立した系（例えばユークリッド幾何学）にもその規則に従って操作する操作者がいる。

このように考えることによって『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』から幾つかの原則に基づくある安定したシステムを取り出すことができる。このシステムの原則はオブジェクトレベルとしての幾何系とメタルレベルとしての身体の区別によって安定したシステムとして機能することができる。しかし、実は『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』のテクニックではこうした区別を無効にする規則が存在する。それは次のようなものである。

1：現実空間のあるものから幾何系に線や面を作り出すことができる。

これまでのシステムには身体が幾何系とは全く別に存在していることによって可能だった。しかし、この規則によってこのシステムの安定性は無くなる。

私は記述の都合上まずあるシステムの姿を描写し、その後そうしたシステムの統一性、あるいはある原則に基づいた一つのシステムとして記述することの不可能性を見いだしたのだが、今見たようにそれは最初から『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』の中に書き込まれていた。こうして、一つ一つの操作としては明快な原則に則って行われる操作の集合である『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』は、そのそれぞれの個別の操作それ自体、あるいはその操作がよって立つ原則そのものを、他の操作によって常にオブジェクトとして対象化されてしまう。こうした状況では絶対的な基盤を見いだすことはできない。その都度独立性のある原理や規則に従った操作があり、またその原理や規則や操作それ自体が別の独立性のある原理や規則に従った操作にさらされる。これが『インプロヴィゼーション・テクノロジーズ』である。